

1学期聴講対象授業

番号	コース	学年	年月日	曜日	時限	講義タイトル	講師	講師	場所
1	国際	1	4/11	木	午前・午後	韓国社会と文化の理解	神戸女学院大学非常勤講師	金 泰賢	学習室1・2
2	生/ECO	2	4/11	木	午前	環境総論「人間活動と環境問題の関係」	環境省登録・環境カウンセラー	北尾 進	学習室3・4
3	生/ECO	2	4/11	木	午後	資源循環「資源循環社会を学ぶ」	環境省登録・環境カウンセラー	中村 司	学習室3・4
4	国際	2	4/12	金	午前・午後	「豪商神兵 湊の魁」～明治中期神戸の商工観光名鑑 居留地と神戸港	シニアルネサンス研究会会長	楠本 利夫	学習室1・2
5	健康	1	4/15	月	午後	くらしの中の福祉 「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせにする「ふくし」	関西国際大学 教育学部教育福祉学科 講師	尾崎 慶太	学習室5・6
6	スポーツ(全 体)	2	4/16	火	午前	<講義> 今日から始める生涯スポーツ	神戸大学名誉教授	山口 泰雄	カレッジホール
7	共通	2	4/16	火	午後	地域の課題について	神戸市社会福祉協議会地域支援部課長	長谷部 治	カレッジホール
8	スポーツ(全 体)	1	4/17	水	午前	<講義> 今日から始める健康づくり	神戸大学名誉教授	山口 泰雄	カレッジホール
9	共通	1	4/17	水	午後	シニア世代の学びを社会に活かす	神戸市シルバーカレッジ前学長	服部 祥子	カレッジホール
10	国際	1	4/18	木	午前・午後	文化人類学と異文化理解～オセアニアを中心に～	神戸大学名誉教授	吉岡 政徳	学習室1・2
11	生/ECO	2	4/18	木	午前・午後	「ものの一生における環境負荷」	ライフデザイン研究所FLAP主宰	岩木 啓子	学習室3・4
12	生/ECO	1	4/23	火	午前	環境総論「環境問題と私の関わり」 (ECOライフってどんな暮らし?)	ライフデザイン研究所FLAP主宰	岩木 啓子	学習室3・4
13	スポーツ(全 体)	3	4/23	火	午前	<講義> アクティブシニアを目指して	神戸大学名誉教授	山口 泰雄	カレッジホール
14	生/ECO	1	4/23	火	午後	環境総論「環境問題と私の関わり」 (ECOライフってどんな暮らし?)	フリーランス	川島 憲志	学習室3・4
15	生/ECO	3	4/26	金	午前	グループ学習「調査研究の進め方」	環境省登録・環境カウンセラー	北尾 進	学習室3・4
16	生/ECO	3	4/26	金	午後	地域環境「アスベスト問題の現状と課題」	NPO法人ひょうご労働安全衛生センター 事務局長	西山 和宏	学習室3・4
17	生/ECO	1	4/30	火	午前・午後	環境総論「ライフスタイルの変化と環境問題」	ライフデザイン研究所FLAP主宰	岩木 啓子	学習室3・4
18	共通	2	4/30	火	午前	【健康3年生・共通2年合同授業】仏教に学ぶ生き方の ヒント	刀田山鶴林寺住職	茂渡 俊慶	カレッジホール
19	共通	2	4/30	火	午後	楽聖ベートーヴェンが世に伝えたかったこと	ピアニスト	田尻 洋一	カレッジホール
20	国際	1	5/2	木	午前・午後	日本語のコミュニケーション～その難しさと面白さ～	園田学園女子大学非常勤講師	川上 恭子	学習室1・2
21	共通	3	5/7	火	午前	ロシア・ウクライナ戦争の背景と今後の世界	神戸学院大学経済学部教授	岡部 芳彦	カレッジホール
22	共通	1	5/8	水	午後	必要とされる自分探し～俳優堀内正美の場合～	俳優、チャイルドケモサポート基金代表 理事	堀内 正美	カレッジホール
23	国際	2	5/9	木	午前・午後	国際関係の現在	同志社大学政策学部教授	月村 太郎	学習室1・2
24	国際	2	5/10	金	午前・午後	国際関係の歴史	同志社大学政策学部教授	月村 太郎	学習室1・2
25	健康	2	5/10	金	午前	アルコールとの付き合い方	幸地クリニック 精神保健福祉士	中元 康雄	学習室5・6
26	健康	2	5/10	金	午後	色彩・装いと健康	兵庫医科大学社会学連携推進機構コー ディネーター薬学部研究員,非常勤講師	石崎 真紀子	学習室5・6
27	健康	1	5/13	月	午前・午後	午前 : 内科のはなし 午後 : 健康診断結果表の見方	公益財団法人兵庫県予防医学協会副会 長/健康ライフプラザ健診センター長	平田 結喜緒	学習室5・6
28	共通	2	5/14	火	午後	人生100年時代いきいきと暮らす お金のつきあい方	マネーラボ関西代表、ファイナンシャルプ ランナー	福一 由紀	カレッジホール
29	国際	1	5/15	水	午前	在日ベトナム人の現在:近畿・東海地方の事例を中心 に	武庫川女子大学文学部講師	林 貴哉	学習室1・2
30	国際	1	5/15	水	午後	神戸在住ベトナム人の背景と状況	神戸定住外国人支援センター	福山 恵(ハ ティ・タン・ガ)	学習室1・2
31	国際	2	5/16	木	午前・午後	アセアンを知る	神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授	太田 和宏	学習室1・2
32	生/ECO	2	5/16	木	午前・午後	脱炭素社会「再生可能エネルギーと地域社会」	非営利活動法人気候ネットワーク 上席 研究員	豊田 陽介	学習室3・4
33	国際	1	5/17	金	午前・午後	PHD協会の活動とNGO論	(公財)PHD協会事務局長	坂西 卓郎	学習室1・2
34	健康	2	5/17	金	午前	事例・成年後見制度	ゆい社会保険労務士事務所 所長 (社会福祉士)	山本 勝之	学習室5・6
35	健康	2	5/17	金	午後	生成AIの概要と利用法	甲南大学知能情報学部教授	田中 雅博	学習室5・6
36	健康	1	5/20	月	午前	生活習慣病予防の食生活	神戸学院大学栄養学部 准教授	田丸 淳子	学習室5・6
37	健康	1	5/20	月	午後	健康とくらしの調査からフレイル予防を考える	神戸市福祉局介護保険課係長(介護予 防担当)	丸岡 友美	学習室5・6
38	健康	1	5/27	月	午前・午後	口腔ケア I 午前:よく噛んで健康長寿 午後:フレイルとオーラルフレイル	たかはし歯科 院長	高橋 進吾	学習室5・6
39	国際	1	5/30	木	午前・午後	日本と世界の食料事情	神戸大学名誉教授、兵庫農漁村社会研 究所理事長	保田 茂	学習室1・2
40	生/ECO	2	5/30	木	午前	自然共生「神戸の絶滅危惧種とその保全」	兵庫・水辺ネットワーク 里地・里山の保 全推進協議会	大嶋 範行	学習室3・4
41	生/ECO	2	5/30	木	午後	自然共生「自然環境の保全と再生」	NPO法人こども環境活動支援協会監事	戸田 耿介	学習室3・4

番号	コース	学年	年月日	曜日	時限	講義タイトル	講師	場所
42	国際	2	5/31	金	午前・午後	ミyanmar難民との共生を考えるードキュメンタリー映画「OUR LIFE」制作の背景を通してー	国際ファッション専門職大学国際ファッション学部講師	直井 里予 学習室1・2
43	国際	1	6/4	火	午前・午後	イスラームの基礎知識、現代中東の諸問題	神戸大学大学院人文学研究科准教授	伊藤 隆郎 学習室1・2
44	共通	3	6/4	火	午前	仲間力アップに、あそび心	ドコデモ代表	榎本 英樹 カレッジホール
45	共通	1	6/5	水	午前	歓迎のひとつときを音楽とともに～クラシックからジャズまで～	打楽器奏者	山中 佑起子 カレッジホール
46	国際	2	6/6	木	午前・午後	イスラームの心と国際協力、サウディアラビアの大変革と中東政治の行方	神戸大学大学院国際文化学研究科教授	中村 覚 学習室1・2
47	生/ECO	2	6/10	月	午前・午後	資源循環「未来のために知っておきたい 海とプラスチックの話」	同志社大学経済学部 准教授	原田 禎夫 学習室3・4
48	健康	1	6/10	月	午後	高齢期の食と栄養	神戸大学大学院 農学研究科 准教授	山下 陽子 学習室5・6
49	生/ECO	1	6/11	火	午前・午後	脱炭素社会「地球温暖化防止とエネルギー利用」「世界の最新エネルギー動向」	和歌山大学客員教授・元日本環境学会会長	和田 武 学習室3・4
50	共通	2	6/11	火	午前	地域を支えて生涯現役	認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸 理事長	中村 順子 カレッジホール
51	国際	1	6/13	木	午前・午後	フェアトレードとアジアの女性の自立支援	AWEP(アジア女性自立プロジェクト)代表理事	奈良 雅美 学習室1・2
52	国際	2	6/14	金	午前・午後	ブラジル社会と政治経済	神戸大学経済経営研究所教授	浜口 伸明 学習室1・2
53	健康	2	6/14	金	午前	地域活動は私たちの周りにもある！ ～実践事例から学ぼう～	社会福祉法人神戸市社会福祉協議会 地域支援部担当課長	石古 恵子 学習室5・6
54	生/ECO	1	6/18	火	午前・午後	自然共生「森林活用による森林保護(森林被害、獣害)」	京都府森林技術センター主任研究員	小林 正秀 学習室3・4
55	共通	1	6/19	水	午前	紫式部と藤原道長	西宮市立春風公民館職員	霜澤 喜代子 カレッジホール
56	共通	1	6/19	水	午後	ボランティア入門	mottoひょうご事務局長	栗木 剛 カレッジホール
57	国際	2	6/20	木	午前・午後	国家の歴史～王国から国民国家まで～	兵庫大学現代ビジネス学部教授	斎藤 正寿 学習室1・2
58	生/ECO	2	6/20	木	午前・午後	午前:脱炭素社会「再生可能エネルギー先進国:ドイツ、デンマークの取組み」 午後:脱炭素社会「日本の再生可能エネルギー普及の現状と課題」	和歌山大学客員教授・元日本環境学会会長	和田 武 学習室3・4
59	健康	2	6/21	金	午前・午後	ケアの基本Ⅱ ～こころがうごけば からだもうごく～	リハビリテーションの『モグネット』主宰(理学療法士・言語聴覚士)	小椋 脩 学習室5・6
60	国際	3	6/21	金	午前・午後	ロシアとウクライナ:戦争に至るまでの歴史的背景	早稲田大学法学学術院教授	渋谷 謙次郎 学習室1・2
61	健康	1	6/24	月	午前	夏の過ごし方(熱中症)	流通科学大学人間社会学部人間健康学科スポーツ健康コース 教授	関 和俊 学習室5・6
62	国際	1	6/27	木	午前・午後	尹錫悦政権下の韓国と国際社会	神戸大学大学院国際協力研究科長	木村 幹 学習室1・2
63	健康	2	6/28	金	午前・午後	午前:在宅医療と訪問看護 午後:人生会議	北須磨訪問看護・リハビリセンター所長/ 慢性疾患看護専門看護師	藤田 愛 学習室5・6
64	生/ECO	3	6/28	金	午前・午後	環境総論「環境コミュニケーションと私たちの暮らし」(求められる環境コミュニケーション)	兵庫県立大学環境人間学部教授	糟屋 美千子 学習室3・4
65	生/ECO	1	7/2	火	午前・午後	地域環境「食と農をつなぎ暮らしと健康を支えるために」	兵庫大学名誉教授	池本 廣希 学習室3・4
66	共通	2	7/2	火	午前	映像の力でまちを元気に	(一般財団法人)神戸観光局神戸フィルムオフィス広報・メディアリレーション担当部長	松下 麻理 カレッジホール
67	共通	1	7/3	水	午後	グループわの活動	グループわ 理事長他	グループわ カレッジホール
68	健康	2	7/5	金	午前	防災意識を高める ～日頃の備え～	防災リテラシー研究所 代表	太田 敏一 学習室5・6
69	生/ECO	3	7/5	金	午前	資源循環「ゼロウェイスト社会を目指して」	海と空の約束プロジェクト代表	西谷 寛 学習室3・4
70	生/ECO	3	7/5	金	午後	資源循環「アパレルの資源循環を目指して」	京都工芸繊維大学大学院名誉教授	木村 照夫 学習室3・4
71	生/ECO	1	7/9	火	午前・午後	環境総論「持続可能社会づくりとSDGs」	神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授	松岡 広路 学習室3・4
72	国際	2	7/9	火	午前・午後	中国の社会と経済	神戸大学大学院経済学研究科教授	梶谷 懐 学習室1・2
73	共通	3	7/9	火	午前	声で握手♪相手の心に響く話し方 ～伝わる力は生きる力～	言の葉OFIICEかのん代表・元NHKキャスター	川邊 暁美 カレッジホール
74	国際	1	7/11	木	午前・午後	世界における子どもの貧困～私がアフリカで見た貧困～	関西学院大学非常勤講師	杉山 精一 学習室1・2
75	健康	2	7/12	金	午前	中高年に多い外科疾患	医療法人康雄会 西記念 ポートアイランドリハビリテーション病院 院長	小澤 修一 学習室5・6
76	共通	1	7/17	水	午前	退職後の生き方～他者とのつながりと社会参加～	神戸市シルバーカレッジ学長	前田 潔 カレッジホール
77	共通	1	7/17	水	午後	イギリスでの生活、日本での生活:島国の共通点と相違点	株式会社Aikomi前代表取締役	ハード ニコラス ウイリアム カレッジホール
78	国際	1	7/18	木	午前・午後	コミュニケーション論～外国人とのコミュニケーション～	神戸大学名誉教授	水野 マリ子 学習室1・2
79	国際	2	7/19	金	午前・午後	国際政治における国際組織の役割	神戸大学大学院法学研究科教授	松村 尚子 学習室1・2
80	生/ECO	1	7/23	火	午前・午後	脱炭素社会「創エネ&ゼロエネ住宅(ZEH)」	再生可能エネルギー相談支援センター相談指導員	津田 和典 学習室3・4

提出日：R 年 月 日

聴講申込書

コース・専攻名		年	氏名	
---------	--	---	----	--

聴講を希望する講義 No. _____

講義日	月 日 ()	年	
種別	共通、スポーツ講義、健康ライフ、国際交流・協力、生活環境/ECO ライフ		
タイトル			
講師名			

- 注意事項 ① 自分の講義がある日は申込みできません。
② 自分の専攻の上位学年の専門講義は聴講できません。
③ 受講の決定は先着順（20名程度）とします。
※健康ライフ1年授業は2名程度とします。

事務局 使用 欄	聴講決定	可・不可（理由： _____）			
		加ッヅ マネージャー	教務リーダー	聴講担当	講義担当

※受付→講義担当（可否確認）→聴講担当→教務リーダー→マネージャー→教務担当（決定連絡）

「聴講」制度の利用について

(令和6年度1学期聴講のご案内)

シルバーカレッジでは、他コース・専攻や他の学年の授業を受講することができる「聴講」制度を設けています。

聴講できない授業もありますが、聴講の受け入れが可能な授業につきましては、掲示およびホームページに掲載しています。

よりよき学びのため、積極的に「聴講」制度をご活用ください。

なお聴講を希望される場合は、事前に「聴講申込書」に必要事項をご記入の上、事務局窓口までご持参ください。

なお、聴講利用にあたっては、以下の点にご注意ください。

- ①自身の授業がある場合には、聴講できません。
- ②自身のコース・専攻の上位学年の専門授業は、聴講できません。

授業 学年	専門授業						共通・スポーツ		
	自身のコース			他のコース			1年	2年	3年
	1年	2年	3年	1年	2年	3年			
1年生				○	○	○		○	○
2年生	○			○	○	○	○		○
3年生	○	○		○	○	○	○	○	

- ③聴講可能人数は、各授業とも20名程度とします。

※健康ライフ1年の授業は、教室の収容人数を超えるため2名程度とします。

- ④申込は、当該授業日前日までとし、先着順で受け付けます。
- ⑤授業によっては座席に余裕がないため、机がない場合があります。その場合は最後尾の椅子に座って受講してください。

4月9日 事務局